

会社ではこんな仕事をしています！



アタックスの経営

購入しやすい価格が自慢のディスカウントストアとして、九州圏内に33店舗を展開。食品から生活用品まで、お客様の日常に寄り添った品揃えで高品質の商品を提供しています。



新鮮市場の経営

地域No.1の生鮮食品特化型スーパーマーケットを目指し、大分県内で15店舗展開しています。特に、火曜日は「95円市場」の企画でお客様から好評をいただいております。



マルミヤストアの経営

1972年に大分県佐伯市からスタートし、地域密着型のスーパーマーケットとして、大分県を中心に、九州に42店舗を展開。創業から現在まで、多くのお客様に親しまれています。



Interview 先輩社員にインタビュー

Q 仕事についたきっかけは？

A 学生の頃から飲食店でのアルバイトを経験しており、お客様に笑顔を届ける仕事がしたいと思い、接客業の道を選択しました。実際に働いてみて、お客様のご年齢により求められることがそれぞれ異なることを実感。お子様に喜ばれる売場づくりや、ご年配の方が商品を手に取りやすい位置を考えて、お客様に喜んで頂けた時はとても嬉しく思います。

フロア部門担当
田中 天音さん(写真上) 入社4年目

Q 仕事のやりがいは？

A 自分で仕入れた商品が売りに繋がったことです。売れる商品はその年ごとに若干異なるため“去年売れたから今年も売れる”というセオリーはあまりありません。そのため、お客様のニーズや市場の動向のチェックは欠かせません。また、経験を重ねるごとに売場の把握や現場のコントロールもできるようになってきたこともやる気に繋がっています。

青果部門担当
市川 直也さん(写真下) 入社4年目



とくし丸(移動スーパー)の運行

身近な商店の減少や高齢化の進行などにより、近隣に店舗がなく、交通手段がないなどの理由により、日常生活に必要な食品・日用品等の購入が困難な地域で、いわゆる買い物難民の買い物支援を行うとともに見守り活動を地域と連携しながら行っています。



フードドライブの実施

頂きものやつい買すぎてしまったものなど、開封しないまま家庭に保管されている食品を集め、子ども食堂や食に困りのある人に届け、孤独や貧困、食品ロス解消に繋がっています。また、大分トリニータの試合会場でブースを設置し、食品提供者にコラボグッズを配布しています。

Check! 会社の取り組み



事業内容

生鮮食品主体のスーパーマーケットの経営／ディスカウントストアの経営

入社時に必要な資格

- ◆普通自動車第一種運転免許
※入社後取得可

注目してほしい制度

- ◆エリア採用アリ
※転居を伴う転動がない働き方を選べます。
- ◆身だしなみの緩和
※髪形・髪色自由

株式会社 マルミヤストア
住所/佐伯市野岡町2-1-10
TEL/0972-23-8111
URL/https://marumiya-store.co.jp/

マルミヤストア



- ◆設立/1972年5月
- ◆資本金/8億828万9,500円
- ◆従業員数/3,058名
- ◆支社(店)/90店舗
- ◆グループ会社/(株)戸村精肉本店
- ◆2027年採用状況/大卒・高卒・専門卒採用予定

地域に密着した小売業として、お客様に“食”の喜びを感じて欲しい

1972年に大分県佐伯市で創業したマルミヤストアは、地域密着のスーパーとして九州各県へ店舗を広げている。「感謝・堅実・信用」という社是のもと、地域のお客様の豊かな食生活と健やかな暮らしに奉仕する」という企業理念を大切にしている。地元で寄り添い、食を通じて人々の暮らしを支え続けている企業だ。

2023年の経営統合を経て、マルミヤストア、新鮮市場、アタックスの3本柱となった。多様化する社会やライフスタイルに素早く対応。常に進化を続ける店づくりを通じて、豊かな暮らしの実現に貢献している。

また、スーパーならではの多様な部門展開が特徴だ。フロア、青果、惣菜、精肉、鮮魚、店舗をバックアップする本社スタッフといった、特徴の異なる幅広い職種から自分に合った働き方を選択できる点が大きな魅力だ。充実した研修制度により着実なキャリアアップが可能であり、明確な目標設定を持って成長し続けられる環境が整っている。

SDGs活動にも積極的に取り組み、自社で出た食品廃棄物を堆肥化した野菜を販売することで食品リサイクルを推進し、家庭で余った食品を回収して子ども食堂などへ提供するフードドライブを定期的に実施し、地域社会への貢献に力を入れている。